



市長日記

## 入学 おめでとう

4月9日、市内すべての小中学校で入学式が行われ、小学校208人、中学校265人の新一年生が入学しました。今年 は比田小学校と第一中学校の式に出席し、お祝いの言葉を贈りました。子どもたちを取り巻く環境は日々変化しています。学校と家庭、地域の皆さんとともに子どもたちの健やかな成長を支えてまいります。



◀在校生から、新入生を歓迎する歌とメッセージが贈られました(比田小)



紹介します  
出来事を  
まちな話  
まちの話題や

# たうん とぴくす

TOWN TOPICS

今月の1枚



4月25日から5月10日にかけて、東比田の永田地区と松本地区で、「第11回猿隠高原芝桜祭り」が行われました。会場では、約1.5ヘクタールに植えられた約9万5千本の芝桜が、山あいの風景を鮮やかに彩りました。芝桜は、地域の皆さんが2014年から植栽を続けているものです。 5月5日：東比田永田地区



このマークの記事は、関連写真を「市公式フェイスブック」で公開しています。



## 安来弁で沸く伝統神事

▲2本の竹をすきとむちにみたて、牛による「田起こし」を再現する近藤佳人さん。

5月5日、赤江八幡宮で、市指定文化財の「御田植神事」が行われました。五穀豊穡を願うこの行事は、中世以降の農作業の様子を伝える貴重なお祭りです。赤江地区の自治会が毎年交代で担い、大切に守り継いでいます。

当日は上坂田自治会の皆さんが、田起こしから田植えまでをユーモラスに再現。安来弁を交えた演技に笑いやマジも飛び交い、境内は和やかな空気に包まれました。伝統のなかに地域の絆を感じる、温かいひとときとなりました。

4月18日、アルテピアで「禁断の舞台裏ツアー」が開催されました。このツアーは、普段は入れない舞台裏の様子を見学してもらい、アルテピアをより身近に感じてもらうと企画されたものです。

参加者は3班に分かれ、小ホールでの座席収納や大ホールでのライト調整などを順に体験。最後は全員で大ホールの音響反射板を設置し、ツアーを締めくくりました。普段は立ち入ることのできないエリアでの特別な体験を、子どもから大人まで夢中になって楽しんでいました。



## 舞台裏を体験

▲大ホール調整室で、音響と照明の操作を体験し、「将来は照明スタッフになりたい!」と話す子も。



## 一面に広がる春色

▲一面に広がった色とりどりのチューリップ。子どもたちも春の散策を楽しみました。

4月6日から12日にかけて、伯太庁舎周辺で「はくたチューリップフェア」が開催されました。

約1.5ヘクタールにわたって植えられた、約100種類・50万本のチューリップ。期間中は、美しい風景を写真に収めたり、お気に入りの花を買い求めたりする人たちが賑わいました。

鳥取県内から訪れた来場者は「個性豊かな品種があって面白い。つぼみの状態のチューリップを購入したので、家でどんな花が咲くか楽しみ」と笑顔で話し、イベントを満喫していました。

5月3日、古代出雲王陵の丘周辺で「第22回健康ウォーク」が開催されました。

地域の元気や健康づくりを目的に、未来あらしま活性化協議会などが主催し、今年は「つつじ祭り」との同時開催として企画されました。

当日は雨模様で祭りは中止となりましたが、ウォーキング中は雨もおさまり、参加者は鮮やかなつつじが彩るコースを元気よく出発しました。家族や友人同士で和やかに会話を弾ませながら、自分のペースで歩みを進め、心地よい汗を流す一日となりました。



## 楽しく歩いて健康に

▲3kmのコースと4kmのコースに計51人が参加し、全員が完歩できました。

5月2日、飯梨川河川敷の三日月公園側で「5月だヨ！全員集合！！～目指せ200匹！！空飛ぶどじょうのぼり大作戦～」が開催されました。

参加者は、安来の特産であるドジョウを描いたのぼりに自由に色を塗り、色鮮やかな「どじょうのぼり」を制作。市内7つの保育施設の子どもたちが事前に描いたのぼりとともに、河川敷に掲げられました。

このイベントは、子どもたちに地域とのつながりや愛着を深めてもらおうと、一般社団法人安来青年会議所が主催しました。



## ドジョウ空を飛ぶ

▲「どじょうのぼり」は6月第1週ごろまで飾られています。ぜひ、見に来てください。



## 道の駅開駅15周年

▲田中市長らが、先着150人に「あらエッサくんどら焼き」をプレゼントしました。

平成23年4月26日にオープンした道の駅あらエッサ。4月26日に「開駅15周年記念感謝祭」が開催されました。

安来産野菜15種類を使った15菜<sup>さい</sup>スープのふるまいや、やすぎのイチゴをトッピングしたソフトクリームの販売など、15周年にちなんだ企画が行われ、多くの来場者に感謝を伝えました。

道の駅あらエッサの飯塚恭司駅長は「これからもお客さん目線を大切に、魅力ある道の駅づくりをしていきます」と今後の展望を力強く語りました。

